

日々が思い出

日中は暖かい日も多くなり、春の訪れを感じられるようになってきました。先日の授業参観・学級懇談会には、多くの保護者の皆様にご来校いただき子供たちの成長した姿を見ていただけたのではないかと思います。卒業式、修了式まで残りわずかとなりましたが引き続きご協力をお願いいたします。

以前、勤めていた学校の6年生に「小学校での一番の思い出は何ですか？」と、聞いてみたことがあります。一人の女の子が「毎日が思い出です。」と答えてくれました。修学旅行や運動会、遠足など特別な思い出もあるでしょうが、その子にとっては友だちや先生方と過ごした日々の出来事が大切な思い出として心に残っているのだと思いました。

私も時々、小学生の頃を思い出すことがあります。給食の時間になっても体育館で遊んでいて先生に叱られたこと。桑畑で鬼ごっこをしていたらいつの間にか額に大きな蜘蛛がついていて、友だちが「きゃー」と言って逃げていってしまったこと。放課後に友だちとけんかをして二人とも大泣きして家に帰ったこと。ソフトボールに夢中になっていたこと……。大人になってふと思い出すのは、日常の何ともない出来事なのかもしれませんね。

第一小学校の子供たちは、この一年どんな思い出が心に残っているでしょうか？令和7年度の卒業式、修了式まであと数日です。学校で友だちや先生方と過ごす時間を大切にして、一つでも多くの楽しい思い出を作してほしいと思います。

(校長 櫻井 隆夫)

6年生を送る会

2月27日（金）に「6年生を送る会」を行いました。どの学年の出し物もとても工夫されていて、6年生への感謝の気持ちが込められた心温まる会になりました。特に6年生が歌った「最後のチャイム」は、とても感動しました。卒業式の練習も始まります。みんなで協力して感動的な卒業式にしていきたいと思います。



